

## エマージング・マーケット諸国による対外資本取引への関与 —パネルデータ分析—

九州国際大学 上坂 豪

エマージング・マーケット 10 カ国よりなるパネルデータを用いて、対外資産負債ストックの規模で表した対外資本取引への関与の大きさを規定する要因の分析を行った。特に、先進国を対象とした先行研究ではその存在が棄却される傾向にあった資本自由化の影響が、エマージング・マーケット諸国においてどのように現れるかに注目した。固定効果モデルに基づくパネル分析の結果、(1) 資本自由化の進展が、グロスの対外資産負債ストックの増加をもたらすという証拠はないこと、(2) ただし、資本自由化は、対外資産負債ストックの内訳である直接投資、ポートフォリオ投資にプラスの影響を、その他投資にはマイナスの影響を与えていること、(3) 財・サービス貿易と国内金融システムの成熟度は、ともに対外資本取引の関与に対してプラスの影響を与えることが示された。